

コミュニケーション検定について

サーティファイコミュニケーション能力認定委員会が主催する当検定は、ビジネスシーンにおいて必要不可欠なコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上を目的として2003年に創設されました。初級では日常生活における状況に適した基本的なコミュニケーション能力を、上級では面接試験を通じてより高度なコミュニケーション能力を測定しています。ヒューマンスキルの土台となるコミュニケーション能力を客観的に評価する国内屈指の資格検定試験として、広く社会で活用されています。

※ 累計受験者数:110,675名(2025年3月末現在)

コミュニケーション能力認定委員会
発行日：2025年8月19日

受験いただきました試験結果について、次の通りお知らせいたします。氏名や生年月日の記載に誤りがある場合は、認定試験事務局までご連絡ください。

認定基準 / コミュニケーション検定

上級	場面に応じて言語・非言語を使い分けたコミュニケーションを展開することができる。また、職場や公共の場などの社会活動の場面において、自己の考えや主張を整理し、第三者に対して効果的に伝達することができる。
初級	周囲の人々と「話す」こと、「聞く」ことによって円滑なコミュニケーションをとることができる。また、就職面接やアルバイト先などの社会活動の場面において、自己の考えを第三者に対して正しく伝達することができる。

受験情報

試験名	コミュニケーション検定	級	初級	受験会場	専門学校 ITカレッジ沖縄		
受験者名	砂川 愛海			会場コード	47239	試験日	2025年8月18日
生年月日	2005年7月9日	受験番号	1016				

試験結果(知識試験科目別正答状況)

分野	科目	正答状況(正答数/問題数)	正答/設問	得点率	83%
Part1 コミュニケーション・セオリー (理論)	コミュニケーションのもつ力	●	1/1	合格基準	得点率が65%以上
	聞く力・話す力	●●●●●●●●●●●●	11/11		
Part2 コミュニケーション・プラクティス (実践)	基礎	●●●●●●●●○○	8/10	合否結果	合格
	応用	●●●●●○○○	5/8		

出題範囲 / コミュニケーション検定

<知識試験:項目別出題数>

分野	科目	項目	上	初
Part1 コミュニケーション・ セオリー (理論)	コミュニケーションのもつ力	コミュニケーションを考える	1	1
	聞く力・話す力	目的に即して聞く	11	11
		傾聴・質問する		
		目的を意識する		
		話を組み立てる		
		ことばを選び抜く		
		表現・伝達する		
Part2 コミュニケーション・ プラクティス (実践)	基礎	来客応対・電話応対	28	18
		アポイントメント・訪問・挨拶		
		情報共有・質問、返答		
		チーム・コミュニケーション		
		非対面コミュニケーション		
	応用	接客・営業・クレーム対応	28	18
		会議・取材・ヒアリング、ファシリテーション		
		自己表現力・印象力		

<面接試験:内容>

テーマ	面接内容	上	初
状況対応	受験者の属性に応じた3問程度の質問に対して返答	約3分	—

<面接試験:シチュエーション>

公の場での正式な面接(就職試験や昇格面接等)とする。受験者は、試験官を人事担当者・企業の役員と想定し、質問に回答すること。服装はスーツ着用が好ましいが、必ずしも着用の必要はない。公式な場にふさわしい身だしなみ(相手に不快感を与えない服装)を期待する。

試験の詳細はサーティファイのHPでも確認できます。

<https://sikaku.gr.jp/c/nc/exam/range/>